

自然科学研究機構国立天文台 特任研究員（年俸制職員、研究課題「楕円銀河における多階層分子ガスと銀河核の活動性の関係の解明」）募集

【募集人員】 特任研究員 1名

【職務内容】

国立天文台ALMAプロジェクトでは、日本国内の大学に在籍する研究者にALMAを用いた科学研究を推進していただくため、「ALMA共同科学研究事業」を設立しました。ALMA共同科学研究事業については、以下を御覧ください。

[https://researchers.alma-telescope.jp/j/support\\_programs/almagrant/](https://researchers.alma-telescope.jp/j/support_programs/almagrant/)

本事業に基づき、ALMAの観測データ（アーカイブを含む）を用いた研究課題「楕円銀河における多階層分子ガスと銀河核の活動性の関係の解明」（2022年4月1日開始）を推進する特任研究員を募集します。本研究課題の採択者である東京都立大学・藤田裕教授の下、本特任研究員には勤務時間の100%を用いて本研究課題を推進すると共に、ALMAプロポーザルも積極的に提出していただきます。研究成果として、年1編以上の投稿論文の出版と年1件以上のALMAプロポーザルの提出に加え、本研究課題を推進する場合に限り、学生の研究等への指導・支援を行っていただきます。電波天文観測を専門としてこなされた方の応募も歓迎します。

【研究課題】

・ 研究課題名：

（日本語名）楕円銀河における多階層分子ガスと銀河核の活動性の関係の解明

（英語名）Revealing the relation between multi-level molecular gas in elliptical galaxies and their AGN activity

・ 研究概要：

従来楕円銀河には高温ガスはあるものの分子ガスはほとんどないとされていたが、近年の観測技術の発達により、少なくとも一部の楕円銀河には10億太陽質量を超える分子ガスが見つかっている。さらにこのガスの一部が核周円盤となり、ブラックホールへ供給されている様子も観測されている。このことより、楕円銀河についても高温ガスではなく分子ガスがブラックホールの燃料ではないかという考えが次第に広まりつつある。しかしこまでの研究は楕円銀河のサンプルに偏りがあり、この考えを楕円銀河一般に当てはめてよいのかはわかっていない。本研究ではALMAによる楕円銀河の分子ガスの系統的な観測を行い、X線をはじめとする他波長データや理論モデルと比較することで、楕円銀河の銀河核活動の源を解明する。

【所属（勤務地）】 東京都公立大学法人東京都立大学（東京都八王子市）

※ 国立天文台で採用し、同日付で東京都立大学と国立天文台で在籍出向契約を結び当

該大学へ出向していただきます。

#### 【身分・待遇】

- ・ 給与は年俸制。月額35万円を毎月支給。
- ・ 通勤手当を支給（上限55,000円／月）
- ・ 健康保険（文部科学省共済組合）、年金（厚生年金）、雇用保険および労災保険に加入
- ・ ボーナス、退職金の支給はありません。

（出向時の勤務条件等）

- ・ 勤務時間及び休日については東京都立大学の諸規則を適用します。
- ・ 月最大16日、9時00分～17時45分（休憩60分）を基本とする専門業務型裁量労働制勤務（週休日（土曜、日曜及び指定する曜日）、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）は休日）
- ・ 有給休暇（年次有給休暇、慶弔休暇、夏季休暇等）あり
- ・ 喫煙：学内に設置されている喫煙スペースのみ可

#### 【着任時期】 決定後、なるべく早い時期

#### 【契約期間】

- ・ 本特任研究員の雇用契約期間は、試用期間（6ヶ月）を含めて原則2024年3月31日まで。ただし、本研究課題は、研究課題の開始（2022年4月1日）から1年半経つ日までに中間審査が実施され、その結果、契約期間が1年間延長されて2025年3月31日までとなることがあります。
- ・ ただし、着任前6か月以内に自然科学研究機構の有期雇用歴がある場合、通算有期雇用期間が10年を超えないよう契約期間が設定されます。
- ・ 採択者が他大学または他機関に異動された場合、一緒にその大学または他機関に異動していただくことになります。
- ・ ただし、採択者が国立天文台に異動した場合、または異動先で本特任研究員を受け入れることができなかった場合、就業場所を国立天文台（東京都三鷹市）として研究を継続していただくことになります。この場合、異動時点での契約期間で雇用を終了し、契約期間の延長は行いません。

【応募資格】 関連分野で博士の学位を有するか、それと同等の研究能力を有する者。

※2004年4月以降国立天文台にプロジェクト研究員又は短時間契約職員のうち研究員としての通算有期雇用期間が5年を超える方はご応募いただけません。

#### 【応募方法】

- 以下の提出書類を英文で作成し、全てをP D Fに変換して、応募締切までにメール添付で下記アドレス宛にお送りください。  
alma-grant-recruit\_atmark\_alma.mtk.nao.ac.jp (\_atmark\_を@に置き換えてください)
- ※ P D F作成にあたっては解像度に注意し、あまり容量が大きくなり過ぎないようにしてください（メール一通につき最大10MB程度まで）。
- ※ 電子メールの応募を受領した場合、確認のため受領のメールを返送します。受領のメールが祝休日を除く2日以内に返送されない場合、上記アドレス宛にお問合せください。
- ※ メールの件名（Subject）には、応募する研究課題名を明記してください。

#### 【提出書類】

- 以下の提出書類を英文で作成し、全てをP D Fに変換してください。
  - (1) カバーレター（研究課題名を明記すること）
  - (2) C V
  - (3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著論文の場合は応募者の役割分担を記すこと）
  - (4) 主要論文3編以内のP D Fファイル
  - (5) 職務に対する抱負と計画
  - (6) 推薦書2通以上（推薦書は、推薦者が応募締切までに提出先に直接送ること）
  - (7) 速やかに連絡できる本人連絡先
- 応募締切：2023年1月10日（火）日本時間 15:00必着

#### 【採用の決定】

書類選考の上、面接を対面もしくはオンラインで行う場合があります。なお、面接に要する費用は応募者の自己負担となります。

採用は国立天文台有期雇用職員等審査委員会での承認が必要となります。

#### 【問合せ先】

- 応募に関する問合せ：  
国立天文台 事務部総務課人事係  
E-mail: job11-prj-researcher1\_atmark\_nao.ac.jp (\_atmark\_を@に置き換えてください。以下同様。)
- 研究内容に関する問合せ：  
東京都立大学大学院理学研究科 物理学専攻 藤田 裕 教授

E-mail: y-fujita\_atmark\_tmu.ac.jp

- ・その他：

国立天文台 アルマプロジェクト ALMA 共同科学研究事業担当

E-mail: alma-grant-inquiry\_atmark\_alma.mtk.nao.ac.jp

**【その他】**

- ・採用前に獲得した科学研究費等の外部資金を継続すること、あるいは採用後に獲得することは可能ですが、研究課題に即した内容であるかどうかを国立天文台アルマプロジェクトが判断した上で認められることになります。
- ・国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。また、出産・育児・介護等のために休暇・休業を取得した場合には、履歴書にその旨、明記してください。業績を評価する際に配慮します。国立天文台の男女共同参画社会の実現に向けた取り組みの詳細は <https://www2.nao.ac.jp/~open-info/gender-equality/> を御覧ください。
- ・応募に際していただいた情報は、この選考および事務連絡以外のいかなる目的にも使用いたしません。選考後、採用に至った方以外の応募書類は責任をもって破棄します。

**【募集者名称】**

大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台

以上